

経営比較分析表

千葉県 習志野市

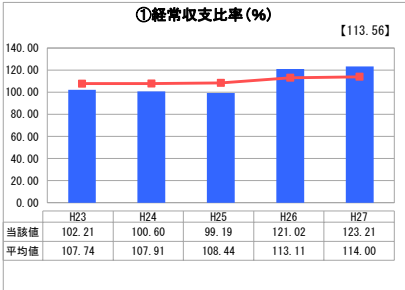
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A3
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	93.85	64.66	2,062

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
168,838	20.97	8,051.41
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
110,611	12.04	9,186.96

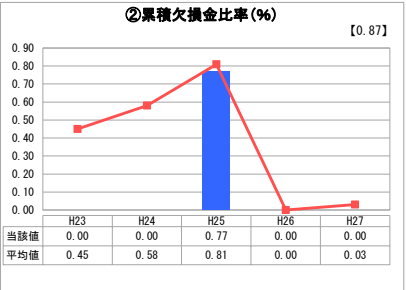
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

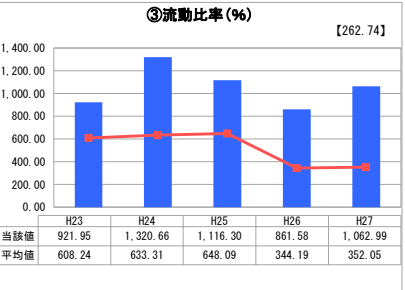
1. 経営の健全性・効率性



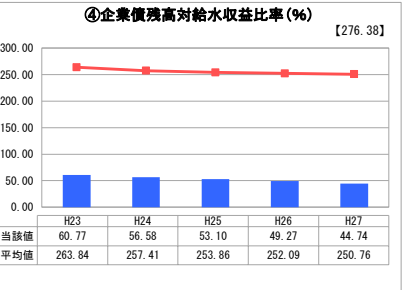
「経常損益」



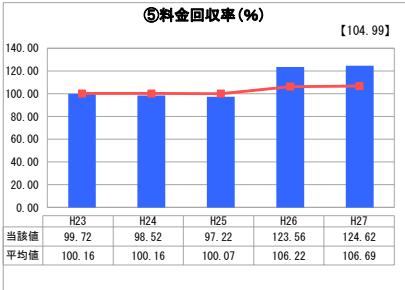
「累積欠損」



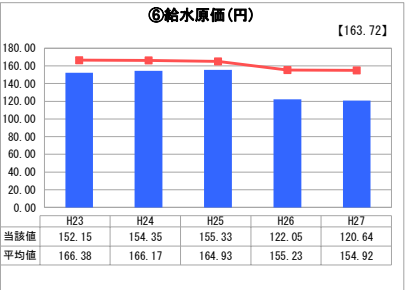
「支払能力」



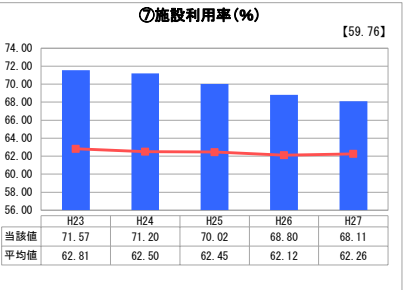
「債務残高」



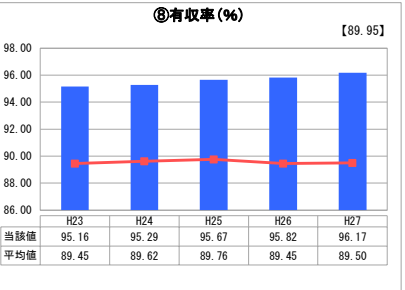
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

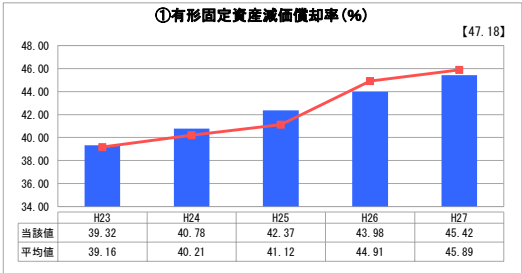


「施設の効率性」

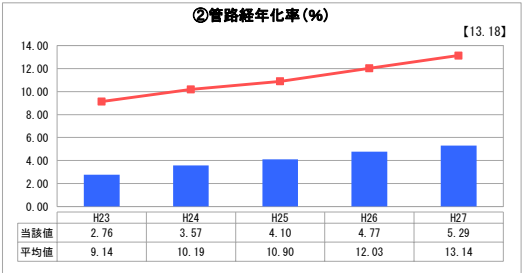


「供給した配水量の効率性」

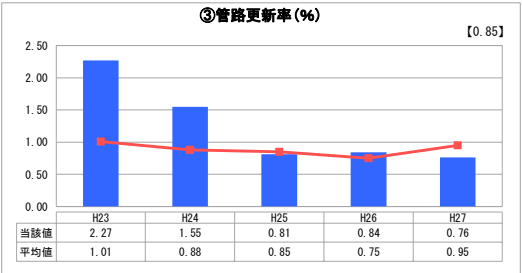
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、100%を超えかつ類似団体と同等に推移していることから、比較的良好であると言えますが、経常収益のうち給水収益以外の収入に依存していることが認められることから、引き続き経営改善に向けた取り組みを推進してまいります。

②累積欠損金比率は、平成25年度以降発生はしていませんが、給水収益が減少傾向にあるため、経営改善に向けた取り組みが必要であると考えられます。

③流動比率は、100%を超えかつ類似団体と比較し良好な数値を示していることから短期的な債務に対する支払い能力を十分有していると考えられます。

④企業債残高対給水収益比率は、類似団体と比較し非常に数値が低く、企業債残高が小さいことを表しています。

⑤料金回収率は、100%を超えていることから、給水に係る費用を給水収益で十分賄えており、これまでの費用抑制に向けた取り組みの効果が現れていることを示しています。

⑥給水原価は、類似団体と比較し低く推移していることから、費用抑制をはじめとする効率的な経営の効果が現れていることを示しています。

⑦施設利用率は、類似団体と比較し、非常に高い数値を示しており、施設の保有状況が適切であり利用状況も効率的に運用していると考えられます。

⑧有収率は、類似団体と比較し、非常に高い数値を示しており、これまでの漏水対策の効果が現れていることを示しております。また、施設の稼動状況が効率的に収益に反映されていると言えます。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、資産の老朽化度を示しており、類似団体と同等に推移していることから適切な施設更新が実施されていると考えられます。

②管路経年化率は、類似団体と比較し低水準で推移していることから、老朽化した管路を適切に更新していると考えられます。

③管路更新率は、類似団体と同様に推移しており、管路の更新を標準的なペースで実施していると考えられます。

全体総括

経営比較分析表に示す指標によりますと、経営の健全性・効率性及び老朽化の状況のいずれも概ね良好であると言えますが、給水収益が減少傾向にあるため、収益を改善するための施策を検討してまいります。

また、管路の更新につきましては、経年化率は低水準に推移していますが、今後は、耐震化率を向上させるための更新計画の策定に努めます。

(参考：平成27年度末現在 基幹管路の耐震適合率＝45.40%)